

基礎看護

令和6年11月26日(火)

受験番号

氏名

No.1

解答はすべて解答欄に記入しなさい。

I. 正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

1. フィンクの危機モデルは、衝撃→承認→防御的退行→適応の段階へと推移していく。
2. 身体内部の恒常性を維持する働きをホメオスタシスとよぶ。
3. 看護師・准看護師は名称独占であり、業務独占であることが保健師助産師看護師法に定められている。
4. ノーマライゼーションとは、人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである。
5. クラスゴー・コーマ・スケールは開眼、覚醒、運動機能で評価する。
6. 保健医療施設における照度の基準で、病室の照度は100Lxである。
7. 誤薬防止のため、与薬の際は3度の確認原則を怠ってはならない。
8. 静脈内注射の場合、10～20度の角度で注射針を刺入する。
9. 酸素療法時、酸素流量計付加湿びんに入れるのは生理食塩水である。
10. 数人の患者に対して、数人の看護師チームを組んでケアする方式を機能別看護という。

II. 以下の設問について、適切な語句や数字を語群より選び答えなさい。

1. 保健師助産師看護師法第37条の二にある(①)は、医師、歯科医師が事前に示した手順書に沿って行われる行為であり、看護師として十分な経験に加え、必要な法律に定める研修を受ける必要がある。
2. 中心静脈栄養法で鎖骨下静脈からカテーテルを挿入した場合、カテーテル先端位置の確認のため(②)の検査を行う。
3. ICFは、人間の生活機能と障害について「心身機能・身体構造」、「活動」、「(③)」の3つの次元及び「環境因子」などの影響を及ぼす因子で構成されている。
4. 前腕や下腿のように細い部分と太くなっている部分がある場合に用いる包帯法を(④)という。
5. (⑤)性黄疸のメカニズムは、赤血球の破壊が亢進し肝臓で処理しきれない過剰な間接型ビリルビンが血中に増加したものである。
6. ストレッチャーでの移送時、上りの斜面では患者の(⑥)の方から進む。
7. 成人男性に一時的導尿を実施する場合、カテーテル挿入の長さは全部で(⑦)cm程度とする。
8. キューブラー・ロスの死の受容過程は「否認」「怒り」「取り引き」「(⑧)」「受容」の5段階が想定されている。
9. 静脈血採血後は穿刺部位を(⑨)分間程度圧迫止血する。
10. 除細動は(⑩)次救命処置である。

語群

胸部X線	胸部CT	認定行為	参加	特定行為	意欲	蛇行帯	折転帯	肝細胞	溶血
足先	頭部	6	5	希望	抑うつ	1	2	15	20

III. 以下の設問について、適切な数字を記入しなさい。

1. 側臥位の骨盤とベッドの角度は(①)度が一番褥瘡予防に効果的である。
2. 成人の場合、脈拍数が1分間に(②)を超える場合を頻脈という。
3. 病院の病室及び診療所の療養病床に係わる病室の床面積は、患者1人につき(③)m²以上と定められている。
4. 食後すぐにベッドで休む場合、(④)分くらいは上半身を挙上した体位とする。
5. 尿量が1日(⑤)ml以下しか排泄されない場合を乏尿という。

IV. 以下の設問に答えなさい。

1. 輸血時の看護について誤っているものを答えなさい。

- ①副作用は輸血開始5分以内に出現する即時型と輸血後数日あるいは数週間後に出現する遅発型がある。
- ②血液成分製剤の赤血球製剤は20～24℃で保存する。
- ③輸液セットを使用して輸血してはならない。
- ④開始後5分間は急性反応確認のためベッドサイドを離れず、患者の状態を観察する。

2. 一時的吸引法を行う際の看護について誤っているものを答えなさい。

- ①カテーテル挿入時は、必要なところに挿入されるまでは吸引力を止めて挿入する。
- ②陰圧をかけている時間は20秒以内とする。
- ③再吸引は3～5分後に行う
- ④カテーテルを抜く際は必ずしも吸引圧を止める必要はない。

3. 経管栄養法について適切なものを答えなさい。

- ①鼻腔に留置したチューブの入れ替えは、できるだけ片方の鼻腔に統一した方が良い。
- ②鼻腔へ挿入する際は、挿入する鼻腔と反対側を向くよう患者へ促す。
- ③胃内に留置するチューブ挿入の目安は、成人で45cmである。
- ④胃瘻、腸瘻の適応は2か月以上の経管栄養が必要となる患者が対象となる。

4. 医療安全について、誤っているものを答えなさい。

- ①医療過誤の裁判では、注意義務違反、結果予見義務違反、結果回避義務違反について争われる。
- ②1件の重大事故の裏に29件の軽傷事故、300件の無傷事故があるとされる法則をハインリッヒの法則という。
- ③SHELモデルは過失事故の分析方法である。
- ④麻疹、結核、水痘などの空気感染では、手袋・ゴーグル・マスク・ガウンなどの個人防護具の着用、器材の適切な廃棄処理を行い、感染対策を行う。

5. 清拭の援助について誤っているものを答えなさい。

- ①室温は22から26℃くらいに調整することが望ましい。
- ②清拭中の洗面器の湯の温度は50℃以上に保つようにする。
- ③食後30分以内の清拭は避ける。
- ④背部は冷覚が鋭敏であるため、他の部位より高めの温度で拭く。

V. 次の計算をしなさい。

1. 輸液ポンプを使用し、1000mlの輸液を12時間で実施する場合、時間流量に設定する流量を答えよ。ただし、小数第1位は四捨五入すること。

計算式

答え (ml/時間)

2. 2500mlの輸液を24時間で行う指示がでた。1ml約20滴の輸液セットを用いた場合の1分あたりの滴下数を求めよ。ただし、小数第1位は四捨五入すること。

計算式

答え (滴/分)

成人看護・老年看護

令和6年11月26日(火)

受験番号

氏名

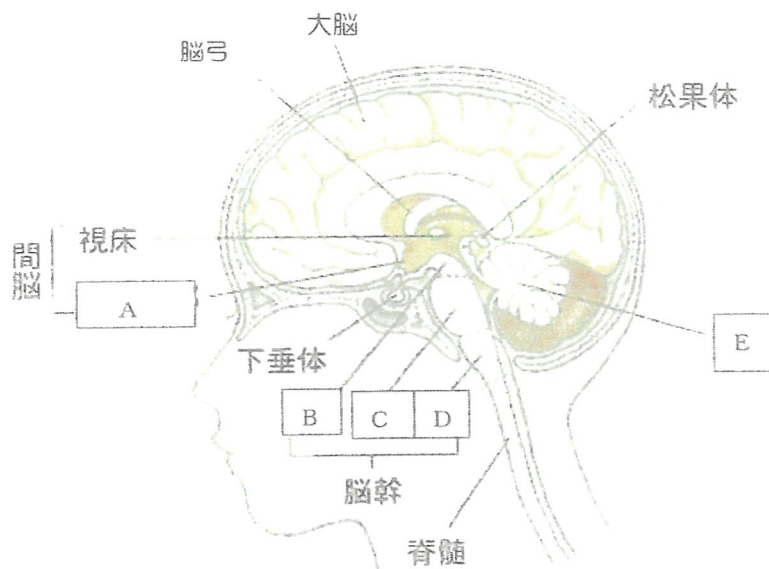
No.1

解答はすべて解答欄に記入しなさい。

I. 以下の設問に答えなさい。

1. 右の脳の構造図のA～Eに当てはまる部位を書きなさい。

- A ()
B ()
C ()
D ()
E ()



2. 下の文を読み、正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- 1) 脳の構造で髄膜は、外からクモ膜、硬膜、軟膜の3層からなる。
- 2) 脊髄神経は、頸部7対、胸部12対、腰部5対、仙骨部5対、尾骨部1対よりなる。
- 3) 交感神経の伝達物質はノルアドレナリンとアセチルコリンである。
- 4) 髄膜刺激症状には項部硬直、羞明、クッシング徴候がみられる。
- 5) クモ膜下出血は非常に強い頭痛が急激に起こり、多くの場合は嘔吐を伴う。

II. 以下の設問に答えなさい。

1. 生活習慣病の第一次予防で、正しいのはどれか。

- ① 疾病の早期発見
- ② 疾病の発症を予防する
- ③ 疾病の早期治療
- ④ 重症化の予防

2. 成人期の特徴について正しいのはどれか。

- ① 青年期は身体的に成熟を果たして心身ともに最も安定した時期である。
- ② 壮年期は子どもが自立して役割の喪失感から「空の巣症候群」に陥ることがある。
- ③ 青年期は自殺と不慮の事故による死亡が特徴的である。
- ④ ハヴィグアーストの発達課題で成人前期は「両親とはかの大人から情緒的独立を達成する」である。

3. 成人期の慢性疾患について、適切でないのはどれか。
- ① 発病には個人の生活習慣が関係していることが多い。
 - ② 急性増悪しないことが慢性疾患の特徴である。
 - ③ 患者だけでなく家族にとっても、生活上大きな問題である。
 - ④ 食事療法など自分で生活を工夫して実行していかなければならない。
4. 胃がんで開腹手術を受けた患者の看護について適切なものはどれか。
- ① 術後 12 時間前後までが創部痛のピークであるため、鎮痛剤は出来るだけ使用を避ける。
 - ② 早期ダンピング症候群は食後 2-3 時間を経過して冷汗や手指の震えを生じる。
 - ③ ビタミン B12 などの吸収障害から骨粗鬆症を起こすことがある。
 - ④ 1 回の食事は 30 分以上かける。又は分割食にする。
5. 胸腔ドレーンを受ける患者の看護について、誤っているものはどれか。
- ① 胸腔内に貯留した液体や気体を体外に排出し、肺の再拡張を促す。
 - ② エアリークの有無を確認する。
 - ③ 胸腔ドレーン挿入を行う際は、全身麻酔でおこなわれる。
 - ④ 皮下気腫の有無・程度の観察を行う。
6. 狭心症について正しいのはどれか。
- ① 夜間あるいは早朝起きるときにのみ胸痛を生じるものを労作性狭心症という。
 - ② 症状は数分から長くても 30 分以内で消失する。
 - ③ ニトログリセリンの投与は無効である。
 - ④ 冠危険因子には高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙がある。
7. 慢性腎臓病(CKD)で、低下するのはどれか。
- ① 糸球体濾過値(GFR)
 - ② 血圧
 - ③ クレアチニン
 - ④ たんぱく尿
8. アナフィラキシー反応について、正しいのはどれか。
- ① III型アレルギーである。
 - ② アドレナリン筋肉注射が第1選択である。
 - ③ IgA が関与している。
 - ④ 遅延型アレルギーである。
9. 乳房切除術を受けた患者への説明で適切なものはどれか。
- ① 「血圧測定は手術した側の腕で行います」
 - ② 「横になるときは手術した側の腕を挙上しないでください」
 - ③ 「リンパ浮腫は術後早期に出現しなければ、その後は心配ありません。」
 - ④ 「退院後は手術した乳房と反対側の乳房の自己検診を行きましょう」
10. 手術後に発症する肺血栓塞栓症で正しいのはどれか。
- ① 高熱を伴って発症する。
 - ② 発症してもショックに陥ることはまれである。
 - ③ 深部静脈血栓症の合併症である。
 - ④ 予防として手術後より弾性ストッキングを着用する。

Ⅲ. 加齢に伴う身体変化、心理的・精神的特徴について、正しいものに○、誤っているものに×を記しなさい。

1. 肺胞の弾性収縮力の低下により、肺活量及び1秒率は減少するが、全排気量は変わらない。
2. 血管弾力性が低下することで収縮期血圧は低下する。
3. 腸管の蠕動運動の低下によって、腹痛や便秘、下痢を起こしやすくなる。
4. ろ過機能及び尿の濃縮機能の低下により、頻尿や脱水を起こしやすくなる。
5. 流動性知能は60歳頃にピークを迎え、その後緩やかに低下する。
6. 短期記憶は低下する、意味記憶や手続き記憶は加齢の影響が少ない。
7. T細胞は加齢に伴って増加がみられる。
8. コレステロールや中性脂肪が増加することで動脈硬化症の進展が起こりやすい。
9. 運動機能が低下し、ロコモティブシンドロームになりやすい。
10. 老年期の変化として、喪失体験がある。

Ⅳ. 以下の設問に答えなさい。

1. 高齢の大腿骨頸部骨折患者の看護について、誤っているのはどれか。
 - ① 手術後は、腓骨神経麻痺を起こしやすいため、足関節の背屈運動を確認する。
 - ② 人工骨頭置換術後は、脱臼予防のため内転・内旋位とする。
 - ③ せん妄状態になる可能性が高いため、痛みの緩和に努める。
 - ④ 退院に向け転倒予防、日常生活での注意点を説明し、理解してもらう。
2. 心不全の慢性期にある高齢者の看護について、適切なのはどれか。
 - ① 塩分制限は1日10g以下にする。
 - ② 水分摂取は制限しない。
 - ③ 体重は1月に1回測定する。
 - ④ ジギタリス服用時は、血中濃度を確認し、効果と有害作用の観察を行う。
3. 高齢者の慢性閉塞性肺疾患（COPD）の看護について、適切なのはどれか。
 - ① 感染予防に努める必要がある。
 - ② 胸式呼吸を指導する。
 - ③ 運動についての指導は必要ない。
 - ④ 在宅酸素療法を行えば、呼吸不全にならない。
4. 認知症のある高齢者の対応について、適切でないのはどれか。
 - ① 物をとられたという妄想がある場合は、一緒に探す。
 - ② 口に入れてはいけないもの、目に触れないところに移動する。
 - ③ 同じ話を何度もする場合は、何度も話していることを気づかせる。
 - ④ 心の安定を図るには、昔のことを語ってもらう。
5. 高齢者の脳血管患者の急性期看護について、適切なのはどれか。
 - ① 一過性脳虚血発作（TIA）の観察は必要ない。
 - ② リハビリテーションは、回復期に入ってから行う。
 - ③ 関節の拘縮予防のため、関節可動域訓練を行う。
 - ④ 座位保持訓練は行わない。
6. 高齢者の糖尿病について、正しいのはどれか。
 - ① 高齢者に多いのは1型糖尿病である。
 - ② 治療は薬物療法が基本である。
 - ③ 脳血管障害（脳梗塞）や心筋梗塞の発症危険因子である。
 - ④ 食事療法の基本は、蛋白質制限である。

7. フレイルについて、正しいのはどれか。

- ① 体重減少はみられない。
- ② 筋力低下がみられる。
- ③ 意欲の減退はない。
- ④ 疾患の悪化に関与しない。

8. 成年後見制度で正しいのはどれか。

- ① 法定後見人は都道府県知事が選任する。
- ② 法定後見人に関係なく施設入所の契約が行える。
- ③ 判断能力のあるうちに法定後見人を指定できる。
- ④ 寝たきり高齢者の増加によって設けられた制度である。

9. 以下の文を読み、問題 1、問題 2 に答えなさい。

A さん（75 歳、女性）は夫（80 歳）と 2 人暮らしで、15 年前にパーキンソン病と診断された。7 年前よりレボドパ（L-dopa）を 1 日 3 回内服している。ホーエン・ヤール重症度分類のステージ IV で、要介護度 2 である。夫は腰痛のため毎日リハビリテーション目的で通院中である。夫の介護負担を軽減するため、A さんは毎月 10 日間、介護老人保健施設のショートステイを利用している。A さんは握力が低下しているがスプーンを使用し自力で食事を摂取している。食事中に姿勢が崩れることが多く、むせや食べこぼしがある。

（問題 1）看護師の A さんへの食事援助で正しいのはどれか。

- ① 頸部を後屈した体位にする。
- ② 座位時の体幹を安定させる。
- ③ 食後に嚥下体操を実施する。
- ④ こぼさずに摂取できるよう全介助する。

（問題 2）A さんは会話中に急に表情がなくなり声が聞き取れないほど小さくなったり、手足の震えが出現することがあった。正午に薬を内服すると症状は改善するが、内服して 2 時間後には同じような症状が現れることがあった。

A さんの症状はどれか

- ① オン-オフ現象
- ② ジスキネジア
- ③ ウェアリングオフ現象
- ④ アナフィラキシー反応